



Inter BEE 2024 Report

INTER BEE AWARD 2024 は Inter BEE の開催 60 周年を記念して新たに創設されたもので、Inter BEE が対象とするメディア & エンターテインメント産業分野の活性化と将来に向けた進展、同分野における技術の進捗や多様な創造活動の発展に貢献することを目的に実施するものです。同分野の有識者で構成された INTER BEE AWARD 2024 審査委員会の厳正な審査により選出された。

【INTER BEE AWARD 2024 について】

Inter BEE 2024 に展示される技術・製品・サービス・ソフトウェア・コンテンツ等の中から、出展者が事前に応募した出展作品を応募案件として「INTER BEE AWARD 2024 審査委員会」が「先進性・独創性・技術性」「市場性・経済性」「課題の解決性、魅力度、その他」の観点から優れていると高く評価できるものを審査・選考し、表彰するものである。

■各賞選考基準

プロオーディオ部門賞：放送局・スタジオ・ライブ・配信・施設等において活用される、プロフェッショナルユースの音響関連製品・技術・サービス・ソフトウェア・アプリケーションなどのプロダクトや、それらを含むシステム、コンテンツ制作・表現テクノロ

ジー等を広く対象とし、メディア & エンターテインメント産業分野の活性化や進展への貢献性に優れると評価されるものを表彰する。

コンテンツ制作 / 放送・メディア（ハードウェア & ソフトウェア）部門賞：コンテンツ制作および放送局を含むメディア分野において活用される、映像制作関連製品・技術・サービス・ソフトウェア・アプリケーションなどのプロダクトやそれらを含むシステム、コンテンツ制作・表現テクノロジー等を広く対象とし、メディア & エンターテインメント産業分野の活性化や進展への貢献性に優れると評価されるものを表彰する。

コンテンツ制作 / 放送・メディア（トータルソリューション）部門賞：放送メディアやネットメディアをはじめ多様なメディア分野において活用される、映像 / 動画配信関連技術やサービス・ソフトウェア・アプリケーションなどのプロダクトとそれらを含むソリューションシステム、動画を活用した広告・マーケティング等から他産業向けまでを広く対象とし、各種産業分野の活性化や進展への貢献性に優れると評価されるものを表彰する。

エンターテインメント / ライティング / 映像表現部門賞：ライブエンターテインメントや各種施設、メタバース・XR 空間等でのコンテンツ表現において活用される、映

像装置・照明機器機材その他表現デバイス製品・技術・システムやサービス・ソフトウェア・アプリケーションなどのプロダクトとコンテンツ制作・表現テクノロジー等を広く対象とし、メディア & エンターテインメント産業分野の活性化や進展への貢献性に優れると評価されるものを表彰する。本項では「INTER BEE AWARD 2024」受賞式の模様と受賞製品を紹介する。

Inter BEE が対象とするメディア & エンターテインメント産業分野の活性化と将来に向けた進展、同分野における技術の進捗や多様な創造活動の発展に貢献する。

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA:代表理事 / 会長 津賀 一宏 パナソニックホールディングス株式会社 取締役会長）は、現在開催中のメディア総合イベント「Inter BEE 2024（インタービー 2024）」において展示されている技術・製品・サービス・ソフトウェア・コンテンツ等を対象として、優れた展示案件を表彰する「INTER BEE AWARD 2024」の各部門賞（「プロオーディオ部門賞」「コンテンツ制作 / 放送・メディア（ハードウェア & ソフトウェア）部門賞」「コンテンツ制作 / 放送・メディア（トータルソリューション）部門賞」「エンターテインメント / ライティング / 映像表現部門賞」の 4 部門）が決定した。



【審査委員長総評】

INTER BEE AWARD 2024 審査委員会
為ヶ谷 秀一 審査委員長
(元女子美術大学・大学院教授)

「この 60 年間で大きく技術が変化しています。そして今、その変化をどのように活用していくかが重要な時期にあるかと思えます。現在の IP 化の時代のさまざまな進化の中で最も大切だと思うのは、技術の進化でクオリティの高いコンテンツが多く生まれることだと考えています。

今回の受賞の中では、例えば地方の民放の積極的な取り組みがあり、また MR や AR といった新しい技術がメディアの中でコンテンツをどう変えていくのかなど、必ずしも放送メディアだけでなく、幅広くメ

ディアがどう変化していくのかということも INTER BEE AWARD は示しています。このようにテクノロジーが進化する場面を、Inter BEE の中で見るすることができます。その進化がさらに次の新しいメディアを生み出し、そして世界に向けて日本から情報発信をしていき、あるいは若い世代が育ち、新しいメディアの裾野を広げていく。そういう取り組みを出展者の皆様がされて、幅広く Inter BEE に参画いただき、本アワードが今後大きく発展するよう期待しております。」



INTER BEE AWARDS 2024 決定

コンテンツ制作 / 放送・メディア（トータルソリューション）部門賞



◆グランプリ BURANO 先進機能のハイエンド映像制作への貢献 ソニーマーケティング株式会社

◆準グランプリ パーチャルマスターオペレーター（VMO）株式会社テレビ北海道



◆準グランプリ 高精度 & 高可用性のPTP グランドマスタークロック TS-2950 セイコーソリューションズ株式会社



エンターテインメント / ライティング / 映像表現部門賞



◆グランプリ GATZUNT XR 株式会社ハシラス
◆準グランプリ ※該当案件なし

コンテンツ制作 / 放送・メディア（ハードウェア&ソフトウェア）部門賞



◆グランプリ スポーツ AI カメラとマルチアングルライブ配信「StadiumTubeTouch」によるスポーツ撮影・制作の革新的効率化 株式会社NTT Sportict

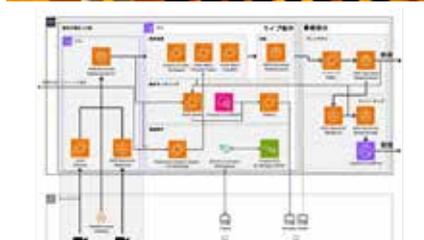
プロオーディオ部門賞



◆グランプリ SMPTE ST2110に対応する小型音声卓『TASCAM Sonicviewシリーズ』とST2110オプションカード『IF-ST2110』 ティアック株式会社



◆準グランプリ UNIO PRM（パーソナル・リモートワーク環境構築ソリューション）



◆準グランプリ クラウドで実現する次世代放送プラットフォーム アマゾン ウェブサービス ジャパン合同会社